

千歳橋・銅町交差点における混雑緩和 に向けた社会実験の実施

村山総合支庁都市計画課
川越雄輔



目次

- 1 背景、課題
- 2 対策の検討（社会実験内容）
- 3 結果
- 4 新たな課題

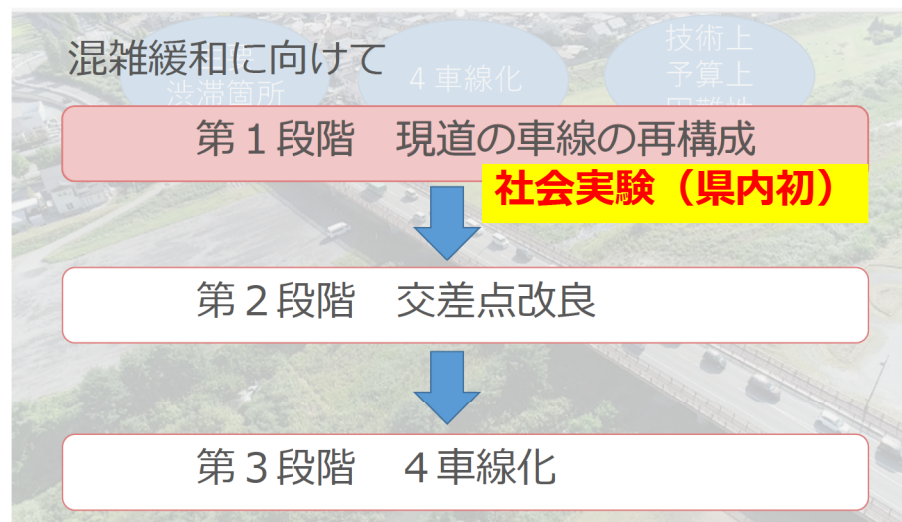
1 背景、課題

実験箇所：銅町交差点（実験前）



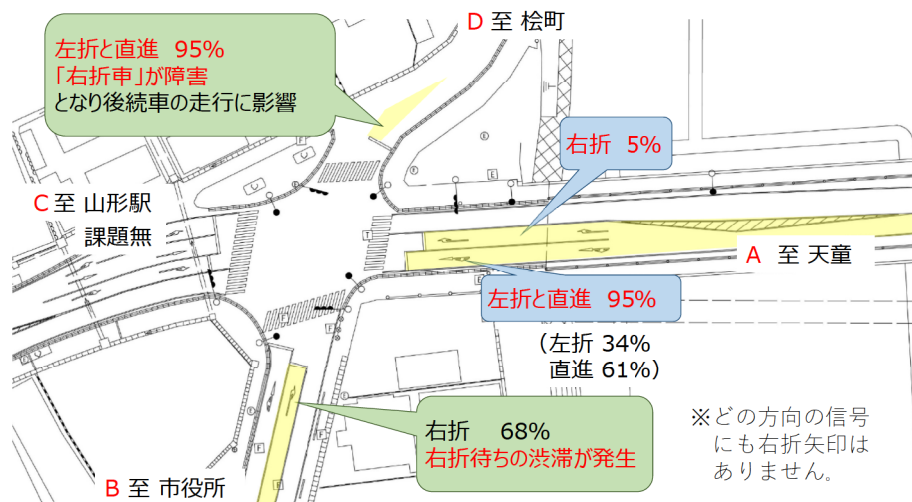
1 背景、課題

課題と方向性



2 対策の検討（社会実験内容）

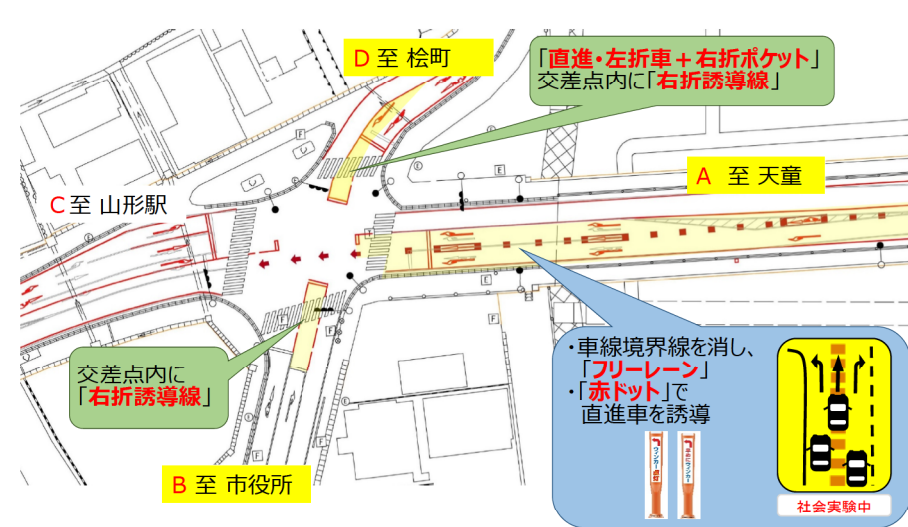
① 交差点の状況（実験前）



4

2 対策の検討（社会実験内容）

① 社会実験内容



6

2 対策の検討（社会実験内容）

① 検討のポイント



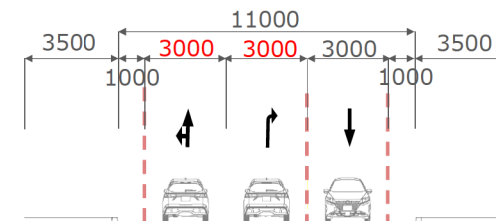
5

2 対策の検討（社会実験内容）

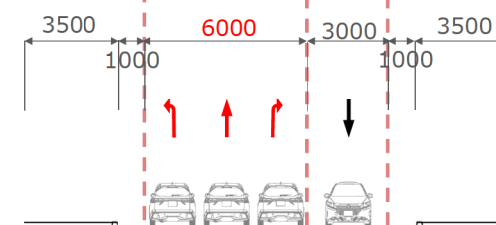
① フリーレーンとは

直左と右折の2つに分けていた車線を1車線化したもの

① 実験前



① 実験後



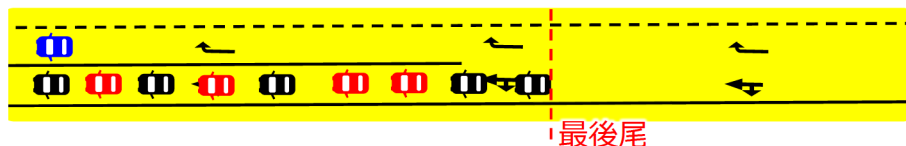
7

2 対策の検討（社会実験内容）

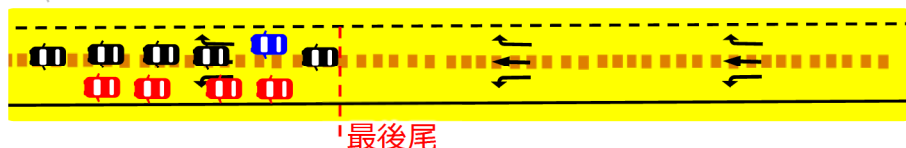
フリーレーンとは

直左と右折の2つに分けていた車線を1車線化したもの

実験前



実験後



直進・左折が並んで停止することで、**滞留長の短縮**を図る。

8

2 対策の検討（社会実験内容）

区画線設置工事

R6.6.14~17で区画線設置工事を実施。
R6.6.17から社会実験開始



赤ドット



看板設置



赤矢印



ポールコーン
設置

9

3 結果

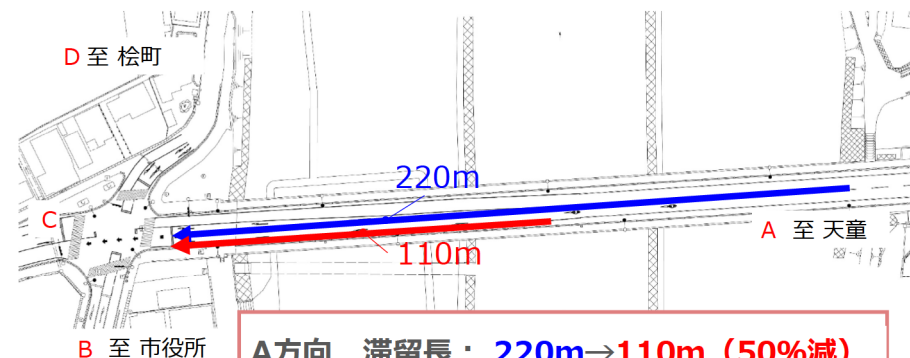
平日：朝(R6.9.7)

滞留長：赤信号で停止した車の長さ

渋滞長：青信号1回で通過できなかった車の長さ

実験前滞留長

実験後滞留長



A方向 滞留長：220m→110m (50%減)
渋滞長：10m→0m

10

3 結果

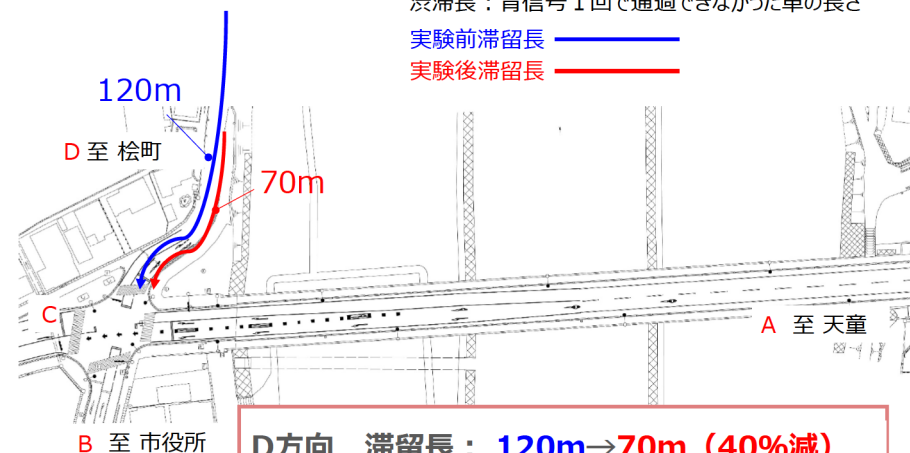
平日：夕方(R6.9.7)

滞留長：赤信号で停止した車の長さ

渋滞長：青信号1回で通過できなかった車の長さ

実験前滞留長

実験後滞留長



D方向 滞留長：120m→70m (40%減)
渋滞長：50m→0m

11

3 結果

R6.11月 朝7:49~



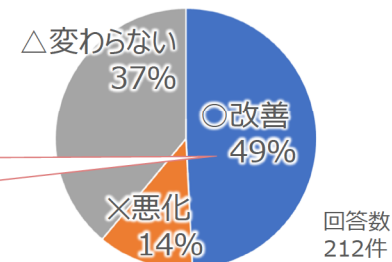
12

3 結果

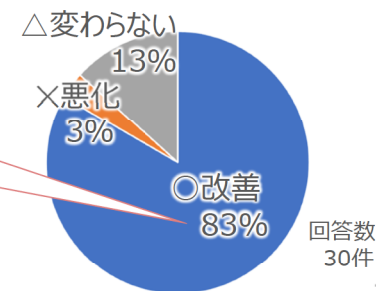
アンケート調査 結果

【Q フリーレーンに対して】
混雑は改善されたと感じますか？

約半分が混雑改善されたと回答
※A方向の意見



特に、平日朝の通勤時間帯では
約8割が混雑改善
※A方向・平日朝の意見

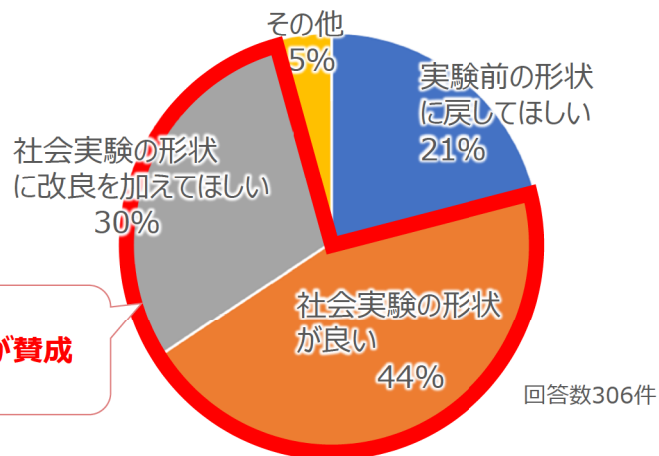


14

3 結果

アンケート調査 結果

【Q 社会実験に対して】
今後の交差点形状はどれが良いか？

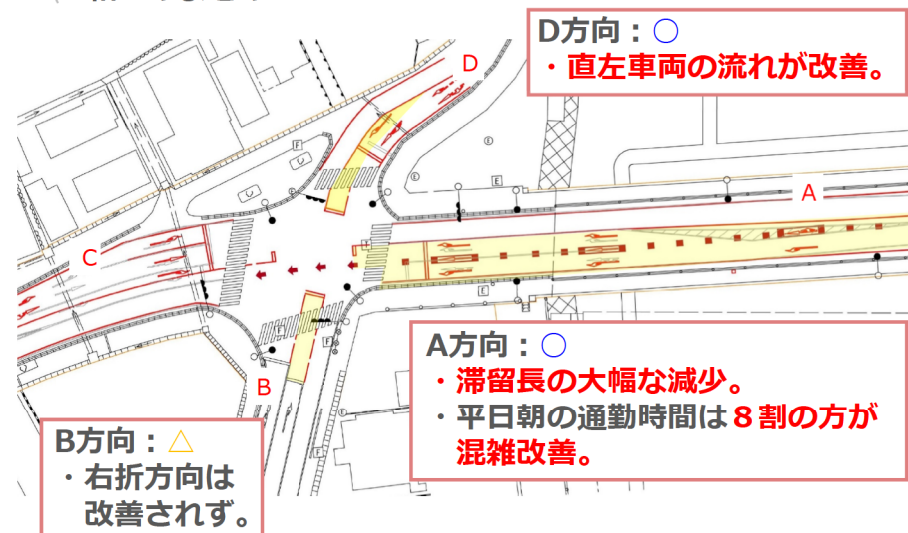


約7割が賛成

13

3 結果

結果のまとめ



15

4 新たな課題

① 主な意見

A方向：

- ・フリーレーンは3台並べない。
- ・車線が狭い。
- ・走行車線を分けてほしい。

市役所及び警察を含めて、今後の交差点形状のあり方を検討していく。

警察と結果共有、働きかけ

B方向：・右折信号がほしい。

県道敷の有効活用

